



町のスポーツ振興について

町は、東小学校跡地を『卓球をメインに地域振興につなげて行きたい』とするケアリッツ・アンド・パートナーズと基本協定を結んだ。卓球を核に幼い子供から高齢者に至るまで町民の生涯スポーツとして町の活性化に向けチャンスと捉えるが。

問 町のスポーツの現状は。また、課題と対策は。

教育次長 以下の通りです。スポーツが集団や画一的な従来のあり方から、時と場所に縛られない個人へ軸が移る傾向が伺えます。町は町民の健康維持増進のため生涯スポーツに注力して、個人のライフ

スタイルや年齢、体力等に応じた身近でスポーツを楽しみ健康増進や生きがい作りにつながる情報提供をしたいと考えます。

※町のスポーツ活動の現状

●令和7年度末五霞町スポーツ協会加入競技団体・・・以下6団体

テニス、バレーボール、ソフトバレー、卓球、五霞歩楽里会、ゴルフ同好会【参考】令和元年 8団体

●中学校の部活動・・・以下8部

サッカー部、バレーボール部、男子&女子バスケットボール部、ソフトテニス部、卓球部、柔道部、水泳部
 ・現状 8部 112名(生徒の74%)が部活参加【参考】令和4年度 8部 129名(同 75%)
 ・学校外のサッカー、水泳のクラブで活躍している生徒もいる。

●五霞町スポーツ少年団・・・令和3年度より登録無し

五霞町の児童は近隣の市町のスポーツ少年団やクラブチームに加入して活動。

問 町の対応は。

特定プロジェクト推進課長 国内でも数少ない卓球のトレーニング施設の特徴を生かし全国からの利用者来訪を促進させるとともに、卓球を通じた町民と一流アスリートとの交流や新たな施設が町民の集いの場になるよう考えているところです。

問 町のスポーツ振興は。

町長 実業団やプロ等本格的なスポーツコンテンツを活用しながら、生涯スポーツを通じた町民の健康寿命の延伸やコミュニティ力の向上によ

り、地域の活性化や町内の消費拡大、ひいては定住人口増加等、スポーツを生かした町づくりに戦略的に取組んでまいります。

【ちょっとメモ】卓球というスポーツは？

日 本：日本卓球協会の競技登録者数30万人、愛好者含めると100万～800万人にのぼる。

世 界：国際卓球連盟の加盟数は220以上の国と地域(国際サッカー連盟を超える)、競技人口3億人超。

新庁舎の防災危機管理機能について

新庁舎は人や環境に優しい機能、さらに、災害時に町民の命を守る防災拠点としての機能が求められる。

問 実施設計業務の防災機能上の条件は。

特定プロジェクト推進課長 庁舎の耐震安全機能の基準は、国土

交通省が定める官庁施設の総合耐震・対津波計画基準に基づき最上級の分類を採用し、人命の安全確保に加え十分な機能を確保しています。また、水害は予定地の氾濫水位【江戸川約1.2m、利根川約3.2m】が想定されるの

で、1.5mの盛土かさ上げを行い、利根川氾濫時は2階以上が浸水に耐えうるレベルを確保して、災害対策本部機能はもとより電気設備等は2階及び屋上に設置する計画としています。